第3回 5月7日の講義内容

- § 2. データと分析モデル
 - 実証とは何か
 - 論理的導出の方法
 - 理論モデルと現象との関係
 - 理論モデルの検証
 - 理論モデルの発見

5/7/03

実証とは何か?

■実証的 positive

規範的 normative 制度的 institutive

- ➡論理実証主義 logical positivism
 - 1920~1930年代に活躍したウイーン学団が提唱
 - ■「事実命題」と「形而上学的命題」の区別
 - 検証主義
 - ■「統一」科学原理:自然科学と社会科学の統一

5/7/03

論理的導出の方法

- ⇒演繹 deduction
 - 根拠となるモデルから論理的に導出すること。
- #帰納 induction
 - 事実(経験)から一般化したモデルを論理的に 導出すること。

5/7/03

演繹の例 Examples of deduction

- ⇒例1: 貴金属は高価である。金は貴金属である。したがって金は高価である。
- ■例2: 魚は哺乳類でない。鯨は哺乳類である。したがって鯨は魚ではない。
- ■例3: 福引の⟨じは、1等とそれ以外ある。 1等の⟨じはすでに引かれてしまった。だから、残りの⟨じを引いても2等以下しかあたらない。

5/7/03

帰納の例 Examples of induction

- ■例4: 学者は夜更かしである。なぜなら、 知っている学者は皆夜に強いからである。
- #例5: カラスは皆黒い。
- 算注意: 個別事例の一般化の際、事例の適切性に注意を払うこと。

5/7/03

理論モデルと現象との関係

- ■理論モデル
 - 概念的抽象化した世界(直接観察不能)
- ■補助仮説
 - 抽象概念と操作概念の橋渡し
- ■操作的モデル
 - 経験的世界のモデル化(直接観察可能)
- ⇒現象

5/7/03

理論モデルの検証

- ⇒まず、一般理論(法則)ありき。
- ⇒一般理論 general theory から演繹される関係 + 補助仮説
- ■操作概念における関係を検証

5/7/03

理論モデルの発見

- ■まず、現象ありき。
- ■抽象・一般モデルを発見
- ⇒現象、経験の帰納的推論+操作概念
 - grounded theory データ密着型理論

5/7/0